

—学校教育目標—

豊かな心をもち

自ら学ぶたくましい子

(1)よく考えねばり強く学ぶ子

(2)心豊かで思いやりのある子

(3)すすんで体をきたえる元気な子

学校便り

第26号

仲井真っ子

H30年9月6日(木)

那覇市立

仲井真小学校

発行責任者

校長 宮里 寧

TEL 917-3330

校内童話お話大会

学年代表

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 【1-4】喜屋武慶汰(きやんけいた)さん | 演題「おさがり」 |
| 【1-1】山城希里(やましろきり)さん | 演題「オーバーとマーガそばやへ行く」 |
| 【2-1】中村義優(なかむらよしや)さん | 演題「まわりねこ」 |
| 【2-3】上間杏美(うえまあみ)さん | 演題「おさがり」 |
| 【3-1】柴田未来希(しばたみらの)さん | 演題「いちごだいふくちゃん」 |
| 【3-3】亀山琉稀(かめやまりゆうき)さん | 演題「オーバーとマーガそばやへ行く」 |
| 【4-3】佐藤京十(さとうけいと)さん | 演題「好きなことをするために」 |
| 【4-3】宮国佑衣(みやぐにゆい)さん | 演題「わたしとかりー」 |
| 【5-3】亀山元徳(かめやまげんとく)さん | 演題「嫌いだった漢字練習」 |
| 【5-1】宮城涼風(みやぎそよか)さん | 演題「祖母の介護から学んだこと」 |

第18回校内童話お話大会が9月5日(水)の午後3時45分から本校体育館で行われました。所要時間は一人4分以上5分以内です。低学年は、童話をしっかり覚え、身振り手振りで表情豊かに発表し、高学年は自分の体験や感じたことを作文にして、自分の意見や考えをしっかりとめ、聞き手に伝わるように大きな声で堂々と発表していました。

仲井真小学校のレベルの高さに驚きました。私は、出場した仲井真っ子の良い点を3つ見つけました。

一つ目は、実際に体験したこと、話題が豊富である。

二つ目は、物語を自分のものにして表現することが上手である。

三つ目は、高学年は、創作。創作にしても着眼点が面白い。

肌で感じた経験があるからこそ、聴く人にストレートに伝わるのだと感じました。なるほどと相づちを打つ場面も何度かありました。

また、大人の評価だけではなく、聞いているお友だちにも伝わっていました。

発表終了後、審査が行われ、下記の4人が学校代表に選ばれました。



- | | |
|-----------------------------|--------------------|
| 【低・男子】 亀山琉稀(かめやまりゆうき)さん(3年) | 演題「オーバーとマーガそばやへ行く」 |
| 【低・女子】 上間杏美(うえまあみ)さん(2年) | 演題「おさがり」 |
| 【高・男子】 亀山元徳(かめやまげんとく)さん(5年) | 演題「嫌いだった漢字練習」 |
| 【高・女子】 宮城涼風(みやぎそよか)さん(5年) | 演題「祖母の介護から学んだこと」 |

学校代表4人の皆さんは、10月3日(水)の真和志南ブロック童話・お話大会へ出場します。その大会でも自分の持っている力を全力で発揮して、頑張ってください。

今回代表になれなかった皆さんは、来年また練習して、挑戦して欲しいと思います。